

関西医療大学 保健医療学部 はり灸・スポーツトレーナー学科 カリキュラム・マトリクス

本学では、4年間の授業科目全体を「総合教育科目（一般教養を幅広く学ぶ科目）」と「専門教育科目（目指す医療資格を専門的に学ぶ科目）」に分けて、それぞれを「教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）」に基づいて体系的に配当したカリキュラムのもとで教育を行っています。

また、本学の各学部・学科では、本学が掲げる「卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」に基づき、学生が卒業するまでの学びの過程で身につけることを求める8つのコンピテンシー（行動特性、能力）を定めています。学生は、1つ1つの授業科目を年次ごとに履修しながら対応するコンピテンシーの修得を積み重ねていきます。そして、社会の中で本学のディプロマ・ポリシーに相応しい人間性と学修成果を身につけた“社会に役立つ道に生きぬく”医療人として活躍することを目指します。

はり灸・スポーツトレーナー学科が学生に求める8つのコンピテンシー

① 人間力	幅広い教養と深い感性を身につけて行動することができる
② 倫理に基づく行動力	医療人として高い倫理観に価値を置いて行動することができる
③ コミュニケーション能力	様々な状況に応じて相手を思いやり、対話できる
④ 専門知識	現代医学、鍼灸学に関する体系化された高い知識を駆使できる
⑤ 専門技術	鍼灸師として安全かつ高度な技術を身につけ、臨床で実践できる
⑥ 鑑別力	鍼灸師として治療の適否を鑑別できる
⑦ 実践力・対応力	鍼灸師、スポーツトレーナーとして、対象者のニーズにあわせて対応できる
⑧ 問題解決能力	鍼灸師、スポーツトレーナーとして、医療・スポーツ現場での問題点を適切に解決できる

大学・学科のディプロマ・ポリシーとコンピテンシーの対応

大学・学科のディプロマ・ポリシー		8つのコンピテンシー							
		①人間力	②倫理に基づく行動力	③コミュニケーション能力	④専門知識	⑤専門技術	⑥鑑別力	⑦実践力・対応力	⑧問題解決能力
大学	1. 医療人として、豊かで深い教養と倫理観を身につけている	●	●						
	2. 保健医療の各分野で求められる専門的な知識をもち、医療技術を実践できる				●	●		●	
	3. 新たな課題を科学的・論理的に探究して解決できる知性を身につけている						●		●
	4. チーム医療の一員として、自らの責任と役割を理解して行動できる			●	●				
学科	1. 高い倫理観と奉仕の精神をもって社会に貢献できる	●	●	●					
	2. コミュニケーション能力をもって、多職種との連携を円滑に行うことができる			●	●			●	
	3. 鍼灸師・スポーツトレーナーとして、病的状態の前段階からスポーツ傷害に至る問題を解決できる				●	●			●
	4. 鍼灸師としてのアイデンティティをもって、子どもから高齢者まで幅広い問題に対応できる				●	●		●	

はり灸・スポーツトレーナー学科のカリキュラム配当科目とコンピテンシーの対応

(※対応する上位2つのコンピテンシー番号を記載)

区分	1年次配当科目		2年次配当科目		3年次配当科目		4年次配当科目		
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
総合教育科目	①② 大学入門セミナー	①② 生命のしくみ	①③ 心理学	①③ 英語表現法Ⅳ	①② 日本国憲法(法の基礎知識)	①② 社会福祉論			
	①② 科学の基礎	①② 物質と自然のしくみ	①③ 教育学	①③ 中国語Ⅱ	①② 社会学				
	①② 統計学の基礎	①② 生命の化学	①③ 英語表現法Ⅲ						
	①② 情報科学Ⅰ	①② 情報科学Ⅱ	①③ 中国語Ⅰ						
	①③ 生涯スポーツⅠ	①② 生命倫理							
	①③ スポーツと健康	①③ 生涯スポーツⅡ							
	①③ 国語表現法	①③ 英語表現法Ⅱ							
	①③ 英語表現法Ⅰ								
	①③ コミュニケーション学								
	専門教育科目	④⑥ 人体の構造Ⅰ	④⑥ 人体の構造Ⅱ	④⑥ 病因・病態学Ⅰ	④⑥ 病因・病態学Ⅱ	④⑥ 臨床医学Ⅲ(内科系Ⅰ)	④⑥ 臨床医学Ⅳ(内科系Ⅱ)	④⑥ 衛生・公衆衛生学Ⅱ	⑦⑧ 鍼灸臨床実習Ⅰ
		④⑤ 人体の構造演習	④⑤ 基礎運動学	④⑥ 臨床医学Ⅰ(医学総論)	④⑥ 臨床医学Ⅱ(外科系)	④⑥ リハビリテーション論Ⅱ	④⑥ 衛生・公衆衛生学Ⅰ	④⑤ 鍼灸治療実習Ⅲ(内科系)	⑦⑧ 鍼灸臨床実習Ⅱ
		④⑥ 人体の機能Ⅰ	④⑥ 人体の機能Ⅱ	④⑥ 運動生理学	④⑥ リハビリテーション論Ⅰ	④⑥ コンディショニングⅡ	④⑥ 鍼灸のリスクマネジメント	④⑦ 経絡経穴治療	④⑤ スポーツ鍼灸特論
		④⑤ 鍼灸基礎実習Ⅰ(鍼基礎)	④⑤ スポーツ外傷・障害の予防(ケージング)	④⑥ 食品栄養学	④⑥ バイオメクス	④⑥ スポーツ医学概論	④⑦ 医事法規	④⑤ トリガーポイント鍼灸	④⑥ レディース鍼灸
④⑥ 医学概論		④⑤ 鍼灸基礎実習Ⅱ(灸基礎)	④⑥ トレーニング科学	④⑥ 安全・健康管理とスポーツ外傷・障害の予防Ⅱ	④⑥ リンコンディショニングⅡ	④⑥ 東洋医学臨床論Ⅱ	⑦⑧ 鍼灸臨床実習Ⅰ	④⑦ トリガーポイント鍼灸療法	
④⑥ アスレティックトレーナー概論		④⑤ 鍼灸理論Ⅰ(基礎)	④⑥ 安全・健康管理とスポーツ外傷・障害の予防Ⅰ	④⑥ コンディショニングⅠ	④⑤ 経絡経穴学Ⅲ	④⑤ 鍼灸治療実習Ⅱ(神経系)	⑦⑧ 鍼灸臨床実習Ⅱ	④⑤ 鍼灸美容	
④⑥ スポーツテーピング論		④⑥ 鍼灸理論Ⅱ(応用)	④⑥ スポーツ外傷・障害の予防Ⅰ	④⑥ コンディショニングⅠ	④⑤ 経絡経穴学Ⅳ	⑥⑦ 鍼灸診察法Ⅱ	④⑥ 現代鍼灸学	④⑦ 膵臓経脈治療	
③⑦ トレーナー現場実習Ⅰ		④⑥ スポーツトレーニング論Ⅰ	④⑥ 東洋医学概論Ⅰ	④⑥ リンコンディショニングⅠ	④⑥ 東洋医学臨床論Ⅰ	⑤⑦ 鍼灸関連療法	④⑧ 総合演習Ⅱ	④⑧ 総合演習Ⅱ	
		⑥⑧ JSPO-ATの役割	④⑤ 鍼灸基礎実習Ⅲ(鍼灸応用Ⅰ)	④⑥ 東洋医学概論Ⅱ	④⑤ 鍼灸治療実習Ⅰ(運動器系)	①③ キャリア形成セミナーⅡ	⑦⑧ 総合ゼミ	⑦⑧ 総合ゼミ	
		③⑦ トレーナー現場実習Ⅰ	④⑤ 経絡経穴学Ⅰ	④⑤ 鍼灸基礎実習Ⅳ(鍼灸応用Ⅱ)	⑥⑦ 鍼灸診察法Ⅰ	④⑧ 総合演習Ⅰ		④⑤ アロマセラピー	
			④⑥ 鍼灸理論Ⅱ(応用)	④⑤ 経絡経穴学Ⅱ	④⑤ スポーツ鍼灸治療	④⑥ スポーツ社会学		③⑦ インターンシップ実習	
			④⑤ 鍼灸理学併用療法実習Ⅰ	④⑤ 鍼灸理学併用療法実習Ⅱ	①③ キャリア形成セミナーⅠ	④⑥ 障がい者スポーツ論			
			④⑥ スポーツトレーニング論Ⅱ	④⑤ 運動器の触診法	⑤⑦ トレーナー現場実習Ⅲ	⑤⑦ トレーナー現場実習Ⅲ			
			⑤⑦ トレーナー現場実習Ⅱ	⑤⑦ トレーナー現場実習Ⅱ	④⑥ 健康管理学				
			⑤⑦ 健康運動実習Ⅰ		④⑥ 健康づくり概論				
			⑤⑦ 健康運動実習Ⅱ		⑥⑦ 応急処置実習				
					⑤⑦ フィットネス実習Ⅰ				

(2024年度改定カリキュラム対応)